

ヨミタイ!をくすぐる

図書館発 ライブラリーマガジン

立正 本遊

二〇二四.三.三十一

© 少納言



What's ^{ほんずさみ} 本遊?

^{ほんずさみ}【本遊】とは、

歌をロずさむように、
本に親しみ、本と遊んでほしい
という願いを込めて付けました

※本遊のバックナンバーは
図書館HPで公開しています。



立正本遊 ^{りっしょうほんずさみ}

13 巻 3号 (通号34号)

令和6年3月30日発行
編集・発行 立正大学図書館
品川学術情報課
〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
TEL : 03-3492-6615
HP : <http://www.ris.ac.jp/library/>

図書館 情報

詳しくは、図書館ホームページ・館内掲示をご覧ください。

図書館長のつぶやき Part23

立正大学

図書館長

小浜 ふみ子

先生



春は、人と人との別れや新たな出会いが多い季節です。仏教では、「人の一生は人との出会いの連続である」（南御堂掲示板から）といえます。自己に出会い、他者と出会い、その一切を成り立たせている大きなはたらき、真実の教えに出会うつまり、大学は、真実の教えに出会う場所であると言えるでしょう。

日本では、卒業式は三月に行われます。卒業式は、厳肅な雰囲気の中、今まで共に過ごしてきた仲間たちと別れる日という、新たな旅立ちに際して心なしか寂しいイメージもあります。一年に一度、袴や振袖姿の華やかな卒業生に接する特別な時期でもありません。

さて、入学式は、明治十九年に国の会計年度が「四月、三月」に決まったのに対応して、当時の文部省の指示で、高等師範学校は四月入学となり、現在に至っております。入学式は、「学校教育法施行規則」に定められている行事ですが、入学者をお祝いし、新入生が在校生や教員たちに紹介される重要なイニシエーションです。新入生には、大学の環境や校風に馴染んでもらう第一歩となります。新入生のみならずには、四年間、勉強、友人たちとの協働、卒業論文執筆や研究にかかわる図書館の利用方法について、早期に図書館にご来館くださいますようお願いしております。

図書館の日めぐり



四月

一日 大学入学式(開館)
新学期授業開始前短縮時間開館
大学院入学式(開館) (八日まで)

九日 第一期授業開始

十五日 春期休暇長期貸出返却日
休日授業日のため開館

六月

十五日 大学創立記念日
(授業日のため開館)

七月

十五日 休日授業日のため開館

十九日 夏期休暇長期貸出開始日
(受付期間は九月六日まで)
(返却日は九月三十日)

八月

六日 夏期短縮時間開館(九月十九日まで)
夏期一斉休暇(十六日まで)(予定)

九月

十三日 大学院卒業式(予定)

二十三日 休日授業日のため開館

三十日 夏期休暇長期貸出返却日

十一月

一日 橋花祭のため休館(三日まで)

十六日 推薦・特別入学試験のため休館

二十三日 休日授業日のため開館

十二月

六日 冬期休暇長期貸出開始日
(受付期間は十二月十四日まで)
(返却日は一月六日)

二十六日 冬期短縮時間開館(一月三日まで)

図書館のサービスやイベントなどの最新情報は
図書館ホームページを、確認ください。

目次

- 1 図書館長のつぶやき
- 2 図書館日めぐり
- 3 古今書本百五十選
- 4 図書館HP見方紹介
- 5 図書館HPプレゼンツ
- 6 りぶたまプレゼンツ

ちょこっとお知らせ

立正大学品川図書館
YouTubeチャンネル紹介

図書館ではYoutubeにて動画を公開しています。図書館の利用案内や、オープン端末・学内情報サービス利用案内といった基礎的な動画はもちろん、図書館で行った展示やイベントに関する動画など、幅広く投稿しています。YouTubeチャンネルは下記QRコードよりご覧いただけます。どなたでも視聴できますので、是非ご利用ください。

こちらのQRコードをチェック

立正大学品川図書館
@uhslibrariy 品川図書館の公式チャンネルの紹介
このチャンネルの紹介
チャンネル名: 品川図書館



石橋湛山コーナーが図書館2Fにできました!

第55代総理大臣であり、1952~68年の長期にわたり立正大学学長(第16代学長)を務めた石橋湛山先生の著作や、石橋湛山先生に関する資料をまとめたコーナーを新設しました。右図のコーナー見出しが目印です。図書館にご来館の際は、2F石橋湛山コーナーに是非お立ち寄りください!



多読コーナー
図書館
石橋湛山
オープン端末席

RILLCom D RILLBox



参加者の声

くずし字にこれだけの種類があることを初めて知った。とても楽しかった。

たまたま店頭でイベントに気づき、小学生も参加できてありがたかった。

クロスワードでの練習はゲーム形式で意外性もあり楽しみやすかった。

古文書を読み始めたいと考えていたのでとても参考になった。



3月2日(土)と16日(土)の2日間、紀伊國屋書店新宿本店3Fアカデミック・ラウンジを会場に、企画展イベントの番外編を実施しました。当館の所蔵資料である『群書類従』所収の『柿本氏系図』と『保元物語』(寛永3年版)を題材に、クロスワードや資料本文を用いたくずし字を読み解く体験を行いました。本学の学生やこれまでの企画展をご覧になった方のほかにも、店頭でイベントに気づいて興味を持ってくれた小学生など、幅広い年代の方に足を運んでいただくことができました。全4回の参加者数は3月2日の1回目は13名、2回目は6名、16日の1回目は11名、2回目は10名、合計40名でした。

くずし字の世界

立正大学は令和4年に開校150周年を迎え、それによって当館では「立正大学図書館古今善本録〜蔵書が伝える図書館150年の軌跡〜」を刊行しました。また刊行を記念して、第51回企画展「古今善本150選」を開催しています。

会期2 日蓮宗ゆかりの寺院 西洋古版本等

2023/11/24 [金] ▶ 2023/12/21 [木]

執筆教員による映像資料を用いた



資料解説とギャラリートーク

12月18日(月)企画展関連イベント【第2回】を開催しました。文学部島村幸一先生を講師に「琉球使節の江戸立(江戸上り)など」のテーマで講演いただきました。後半は古書資料館専門員小此木敏明先生と図書館司書も加わり、特別展示室と展示コーナーにてギャラリートークを実施しました。参加者数は27名でした。参加者からは「授業だけでは知ることのできない知識を資料を通して学ぶことができて興味深かった」といった声が寄せられました。



6つのテーマ

39点の資料を展示

会期2は日蓮宗系大学として特色のある資料を中心に紹介しました。来場者は、古書資料館76名、図書館展示コーナー900名、特別展示室996名の合計1,972名でした。

来場者の声

- ・とても興味深く、楽しめる企画だと思う。
- ・照明・レイアウトも素晴らしい、ゆっくりと鑑賞ができた。OBにも来るように勧めたい。
- ・第3会期の絵本・絵入本の歴史を楽しみにしている。

会期4 出島図・日本地図 医学関連書等

2024/4/10 [水] ▶ 2024/5/13 [月]

スタンプラリー用の各会場スタンプはそれぞれの館の特徴を現した図柄になっています。3個のスタンプには共通した「あるもの」が描かれていますが…気になる方は全ての会場に足を運んで、確かめてみてください！

イベント情報

第51回企画展イベント「資料との出会い」

【最終回】4月25日 [木]

時間 12:50~14:20

場所 1311教室

講師 立正大学副学長・地球環境学部 鈴木厚志先生
文学部 渡邊 裕美子先生

内容 講演と各会場を巡る
ギャラリートーク



2023年10月から始まった本企画展もついに最終会期を迎えます。4月10日(水)から開催する会期4では、本学所蔵資料の中でも特に有名な資料を多数ご紹介いたします。中でも『長崎和蘭陀屋舗図』や『解体新書』『古今和歌集』は、中学高校の歴史や古典の教科書で一度は目にしたことがあるのではないのでしょうか。当時は小さな写真でしか見られなかった資料の現物を間近で心ゆくまでご覧ください！！日本では最初に翻訳された解剖書である『小字宙鑑』は、臓器の紙型をめくるにつれて身体の深部が現れる複雑で繊細な作りです。活版印刷技術を用いて印刷した西洋初の印刷聖書の1葉『ゲテンベルク42行聖書』は、今回初めてのお披露目となります。ぜひこの機会にお越しください！

会期3 絵本・絵入本の歴史 大蔵経等

2024/1/19 [金] ▶ 2024/2/29 [木]



5つのテーマ

38点の資料を展示

1月20日(土)に企画展関連イベント【第3回】を開催しました。今回は特別編として3名の先生(文学部伊藤善隆先生「草双紙の魅力」、文学部野沢住美先生「印刷大蔵経の話」、古書資料館専門員小此木敏明先生「古書資料館所蔵ちりめん本の紹介」)による講演を行いました。また特別展示室・展示コーナー・古書資料館の3会場すべてを巡るギャラリートークを実施し、ホリウム満点のイベントとなりました。実際にちりめん本に触れる体験について反響が大きく、参加者からは「楽しく過ごすことができました」「勉強になった」とのコメントをいただきました。参加者数は19名でした。

来場者の声

- ・展示解説ツアーで深く展示品について知りたかったので、是非企画展をお願いしたい。
- ・ちりめん本が珍しく、見れて良かった。
- ・ジャパンパノチの表紙に興味を持った。

古今善本150選



会期で変わるテーマや建屋の異なる3会場を巡ること自体を楽しんでもらうべく、スタンプラリーを実施しています。各会場で違うデザインのスタンプを集めて、素敵なプレゼントを受け取ってください！

りぶたま Presents

りぶたまプレゼントでは図書館で働く学生アルバイト「りぶたま」の活動を紹介します。今号ではこの春卒業するりぶたまからのメッセージを紹介します！

りぶたまの活動については、りぶたまX(旧Twitter)をご覧ください！



この春卒業するりぶたま2名から

- ①好きな業務
 - ②大変だった業務
 - ③図書館のおすすめスポット
 - ④後輩へ一言
- についてメッセージをいただきました！

何事にも真摯に取り組み、柔らかな雰囲気をもった学年でした。

①好きな業務はオープンキャンパス等で行った図書館ツアーです。何度も練習をして、先輩からアドバイスをいただいたり、他の人のツアーを見たりすることで学ぶことも多かったです。どうしても良いものになるのか、コースや台本を何度も修正したりして、りぶたまで作り上げていく過程も楽しかったです。

②企画に取り組み始めたときの手探り状態の時間が毎回一番頭を使った気がします。りぶたまの皆さんは素敵なアイデアをたくさん思いつく人たちがばかりで、動画作成の時に色々なテーマや雰囲気のものが見えてくる中で、それをりぶたま全体に正確に伝えることが難しく、伝えられない時も、うまく汲み取れない時も少しもどかしく感じました。でも、試行錯誤して徐々に皆が一つの方向に向き始めていくワクワクした気持ちも、りぶたまにいたから感じられたことだと思うので良い経験になりました。

③図書館のおすすめスポットは多読図書コーナーです。私は外国語を話せるわけではありませんが、レベルで分けられていて、さらに厚さも薄いものが多いのでちょっと挑戦してみようかなという気持ちで読み始められるのがいいところだと思います。

④全然頼れる先輩ではなくて、むしろしっかりしている皆に頼ることが多かったと思います。それでも先輩先輩と慕ってくれたので、私にとってとても居心地のいい場所です、3年間ずっと楽しくアルバイト生活を過ごすことができました。皆さんにとってりぶたまが落ち着く環境であつたらいいなと思います。今まで本当にありがとうございました。これからも応援しています！

①1つは蔵書点検です。点検のため、館内のありとあらゆる本を目にし、手にするのですが、気になるタイトルの本を見つけたら、普段は見ることのできない貴重な本を見ることができたり、作業のたびに新たな発見があるところが好きです。もう1つはグループワークです。企画の計画や、作業などのために話し合いをするのが多かったのですが、みんなで自由に意見を出し合い、お互いの意見を尊重し合う雰囲気が大好きでした。

②オープンキャンパスで行われた図書館ツアーです。人前で話すことが苦手だったのですが、今しか経験できないことをやってみたいと思い参加しました。ツアー本番では、どうやら図書館の魅力が伝わるのが、皆さんの反応を見ながら説明することが難しかったのですが、自分なりに工夫して行うことができて楽しかったです。

③B1Fの閲覧席です。本を読んだり、自習ができるよう机が1つひとつ並んでいるのですが、特に、壁沿いに並んだ半個室的な仕様になっている机がオススメです。他の机と比較すると、机の面積が大きく、様々な資料を広げて作業することができるため、レポート作成がしやすかったです。

④皆さんと働くことができた時間は本当に短かったのですが、一緒に作業したり、さりげない会話をしたり、密度の濃い時間を過ごすことができました。皆さんからたくさんのことを学ぶばかりで、先輩らしいことはできなかったのですが、一緒に働くことができてとてもとても幸せでした。本当にありがとうございました。これから色々なことを経験するとありますが、お身体には気をつけて学生生活を満喫してほしいと思います。陰ながら応援しています。



図書館HPの見方紹介 基本のキ

ホーム	調べる・探す ▼	利用する ▼
活用する ▼	図書館とは ▼	古書資料館とは ▼

図書館HPの見方にお困りの皆さまの力になりたい！そんな思いから図書館HPの見方紹介「基本のキ」の連載をしております。今号では「利用する」の中から品川図書館についての「利用資格」について紹介いたします。

利用者区分別紹介ページ

- **学部生**
- 大学院生・教職員
- 単年度生
- 校友者（卒業生・元専任教職員）
- 仏教図書館協会東地区相互利用者
- 三大学図書館協議会相互利用【読谷図書館のみ】
- SALA（埼玉県大学・短期大学協議会相互利用）
- 清泉女子大学相互利用者
- 他大学所属の方

学部生の方へ

利用資格者

本学の学部生

利用できるサービス

資料の貸出/閲覧/複写

- 品川・読谷図書館が所蔵している資料の貸出および閲覧ができます。
- ただし、貴重書など図書館の蔵書により利用が制限されている資料は除きます。
- 著作物の一部が（著作物の一部）で資料の複写ができます。館内コピー機をご利用ください。複写は発行できません。なお、資料によってはコピー機での複写ができない場合があります。
- 白黒 1枚10円 / カラー 1枚30円

利用者区分別紹介ページでは、該当する区分をクリックすることで利用できるサービスの詳細を見ることができます。資料の閲覧・複写方法についても記載されていますので、是非ご確認ください！

利用者区分別サービス一覧

利用者区分	図書貸出/閲覧/複写		AV資料貸出/閲覧		機器貸出	キャンパス外資料取寄	データベース
	貸出数/期間(注1)	閲覧/館内複写(注2)	貸出CDカセットテープ	館内閲覧DVDビデオ	ノートPC/UPIC(注3)(注4)		
学部生	12冊/21日間	○	2点/14日間	○	2点/当日館内のみ	○	○
大学院生・教職員	14冊/30日間	○	2点/14日間	○	2点/当日館内のみ	○	○
単年度生	10冊/21日間	○	2点/14日間	○	2点/当日館内のみ	○	○

利用者区分別サービス一覧では、貸出冊数やキャンパス間の資料取寄可否、データベースの利用可否などを表にしてまとめています。貸出数や機器貸出の可否などがわからなくなった際は、利用者区分別サービス一覧をご活用ください。

利用手続き・利用方法

利用手続き	利用方法
<p>閲覧室にある資料は、すべて自由に閲覧できます。</p> <p>借出する資料は、OPACから資料検索結果が表示し、氏名・学籍番号をご記入の上、カウンターにお申し込みください。</p> <p>本学の教職員・大学院生・大学院研究生は、借出することができます。IDカウンターにて入庫手続きをお願いします。</p> <p>閲覧室 (AV) 資料は、OPACで検索し、AV資料検索結果にご記入の上、カウンターにお申し込みください。</p> <p>参考図書 (図書・雑誌・地図・年報図書など)、貴重書、動画、雑誌、ビデオ、DVD、その他関係資料は貸出された資料は貸出できません。</p> <p>貸出申請の時は、該当期間内にカウンターまでお越しください。借出時は借出ポストをご利用ください。品川・読谷どちらの図書館でもお借りできます。</p> <p>返却日は返却場所は、資料の日数分だけ異なります。</p> <p>本学の学生・教職員は、返却期間内で手配が入っていない場合、1日に限り借出期間の更新ができます。</p> <p>学外の方には、貸出はできません。事情により返却できない場合は返却期日までに各館までご連絡ください。</p> <p>資料の閲覧は「著作物の一部」で資料の複写ができます。館内コピー機をご利用ください。複写は発行できません。なお、資料によってはコピー機での複写ができない場合があります。</p>	<p>図書館の利用手続きについて記載しています。本学の学生・教職員・名誉教授は学生証・教職員証・名誉教授証で入館できます。学外の方の方は所定の手続きが必要なため、来館前のご確認ください。</p> <p>資料の利用や、資料を紛失した場合の対応、利用上の注意点をまとめています。快適にご利用いただくためにも、是非ご一読ください！</p>